

22 年度地域密着型金融推進計画 取 組 み 状 況

平成 22 年 4 月～23 年 3 月

《 重点事項および具体的目標 》

	平成 22 年度目標	平成 22 年度実績
1. 取引企業先に対する経営相談・支援機能の強化		
○ 帯同訪問による融資	60 件 7 億円	45 件 3.5 億円
○ 地元優良企業に対する低金利の無担保特別融資の取組み	1 件 10 億円	1 件 10 億円
2. 事業再生に向けた積極的な取組み		
○ 病院再生による融資	1 先 3 億円	0 先 0 億円
3. 担保・保証に過度に依存しない融資推進		
○ 法人・個人事業者向けローンの取組み	150 件 1.5 億円	134 件 1.5 億円
4. 中小企業の資金調達手法の多様化等		
○ 債権（売掛金）譲渡担保融資	3 件 3 億円	4 件 5.4 億円
○ 保証協会付融資	425 件 42.5 億円	416 件 38.1 億円

以上

《 地域密着型金融推進計画の要約 》

項 目	具 体 的 な 取 組 み
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	
(1) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	
① CRD による経営診断の利用	● CRD によるスコアリング分析を利用することにより、取引先の経営改善項目を明確にし、企業価値を高める活動を行ないます。
取 組 状 況	● CRD によるスコアリング分析により赤字や債務超過といった表面的な現象のみをもって判断するのではなく、事業からのキャッシュフローを重視し、担保・保証に過度に依存しない融資態勢を構築し取引先の支援を行いました。 また、CRDにより当組合職員の財務分析のスキ

		ルアップも図れており、取引先の企業価値も高める経営指導にも積極的に取組んだ結果、取引先の経営改善に寄与することができました。
	(2) 経営改善支援の取組強化	
	① 病院再生融資の支援	● 地域経済を活発にする原動力である病院等の再生に向けた取組みを推進いたします。
	② 中小企業等金融円滑化への対応	● 条件変更等の申出に対しましては、柔軟な取組姿勢と迅速なかつ誠実な対応をいたします。 ● 積極的な緊急経営安定化資金を推進いたします。
	取 組 状 況	● 病院再生融資の支援実績 平成 22 年度は成果に結びつく事は出来ませんでした。 ● お申し出の案件ごとに、誠実に対応致しました。 ● 緊急経営安定化資金の実績 360 件 35.5 億円でありました。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
	(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の徹底	
	① 法人・個人事業者向けローンの推進	● 法人・個人事業者向けの事業性ローンの取組みを積極的に推進いたします。
	取 組 状 況	● 平成 22 年度の実績 134 件 1.5 億円でありました。
	(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	
	① 債権（売掛金）譲渡担保融資の活用	● 売掛金債権を担保とする融資の活用を行いません。
	取 組 状 況	● 平成 22 年度の実績 4 件 5.4 億円でありました。
	② 新規融資案件相談窓口の設置	● 金融の円滑化を図るために、新規案件の申込に対して取組方針等を即日回答しております。窓口を開設して以来、多くの実績により取引先からの評価を得ていることから、今年度も引き続き取組みいたします。
	取 組 状 況	● 平成 22 年度の実績 受付 280 件 612 億円 実行 153 件 262 億円でありました。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		

(1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	● 利用者満足度アンケート調査の継続的な実施により、地域の利用者の資金ニーズや金融商品等の要望を集積し、商品開発等を行い地域経済への貢献を行ないます。 ● 地元商工会議所（東大阪市、松原市、藤井寺市、河内長野市、大阪狭山市、柏原市、羽曳野市、富田林市、大東市、堺市）との連携による会員への金融商品を継続して提供してまいります。 ● ディスクロージャー誌やホームページへの掲載による情報開示に努めます。
取 組 状 況	● 第 6 回利用者満足度アンケート調査の実施。 平成 23 年 2 月 1 日～2 月 25 日、調査先 830 先、回収 829 先 回収率 99.9%、活動内容についてアンケート項目の満足度は 72%でした。 ● 平成 23 年 1 月 4 日～3 月 31 日まで、特別懸賞金付定期預金と題して、第 16 回懸賞金付定期預金キャンペーンを実施致しました。 ● 地元商工会議所との取組みは成果に結びつく事は出来ませんでしたが、今後も各営業店との連携を密に図り融資推進を行ってまいります。
4. 地域の利用者ニーズに応じた経営資源の投下状況	● 融資推進部と営業店渉外担当者との帯同訪問による事業所開拓により、中小零細企業への積極的な融資推進を行ないます。 ● 担保・保証に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、財務分析能力向上の内部・外部の研修に積極的に参加いたします。
取 組 状 況	● 事業所開拓の実績 45 件 3.5 億円でありました。 ● 担保・保証に過度に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、融資渉外研修会に参加させました。 ・ 融資渉外研修会に 17 名参加
5. 態勢の整備	
(1) 人材の育成	● 総務部を主担部とし、全国信用組合中央協会研修所・大阪府信用組合協会において開催する研修に職員を派遣いたします。

	取組状況	● 大阪府信用組合協会主催の研修会 ・ 新人職員研修会 15 名参加 ・ 渉外／窓口リスク・コンプライアンス研修会 19 名参加 ・ 税務研修会 19 名参加 ・ 渉外担当者向け債権回収研修会 19 名参加 ・ 融資渉外研修会 17 名参加 上記の研修会に 89 名参加させ、業務に関する能力等の向上を図りました。 ● 全国信用組合中央協会主催の研修会 ・ 金融検査マニュアル講座 1 名参加 ・ 苦情対策研究講座 1 名参加 ・ 有価証券運用リスク管理講座 1 名参加 ・ 常勤役員講座 1 名 ・ 支店長講座 5 名参加 ・ コンプライアンス研修講座 1 名参加 上記の研修会に 10 名を参加させ、業務に関する能力等の向上を図りました。
	(2) 外部専門家との連携	● 再生企業があれば、外部専門家と連携し取組んでまいります。
	取組状況	● 平成 22 年度は「企業再生プロジェクト」による再生支援企業はありませんでしたので、成果を上げることができませんでした。
6. 中央機関・業界団体が有する各種業務支援・補完機能の活用状況		● 平成 17 年 4 月に「しんくみ生活総合センター」創設によるインターネットを活用した業界独自の情報提供システム「あのねット」の活用による組合員向け家計診断や企業向けビジネスマッチングの機能の活用を図ってまいります。 ● 大阪府信用組合協会の発行誌「しんくみビジネスサポート」掲載企業の参加による「第 1 回・第 2 回・第 3 回異業種交流会」を開催し、参加企業・経営者より好評を得ており、22 年度も「第 4 回異業種交流会」（11 月開催予定）に参加し、ビジネスマッチングに活用を図ってまいります。 ● 平成 22 年度は大阪府中小企業信用保証協会の責任共有制度も含め、講師を招き研修会を開催予定しております。

取 組 状 況	● 組合員向け家計診断及び企業向けしんくみの「あのねット」については、平成 22 年 10 月より「しんくみネット」にリニューアルされ、これに伴う「あのねット」は一部の機能を残して平成 22 年 10 月以降の活用は組合員のネットワークを構築し、地域内の組合員とともに、全国の中小零細事業者等と地域・業域・職域の組合員がネットワークでつながることにより、組合員相互の交流が生まれ新たなビジネスのチャンスが広がることが期待できますが、今期は成果としては上げる事が出来ませんでした。 ● 平成 22 年 11 月 16 日「第 4 回異業種交流会」を開催、信組 6 組合から 44 社 51 名と各組合役員協会関係者含む 33 名で参加企業の自社製品のプレゼンテーションが行われ販路拡大先を求め盛んに交流会が催されました。 ● 大阪府中小企業信用保証協会の責任共有保証及び緊急保証を含めた実績 416 件 38.1 億円でありました。 ● 大阪府中小企業信用保証協会から、講師を招き研修会予定しておりましたが開催出来ませんでした。
----------------	--